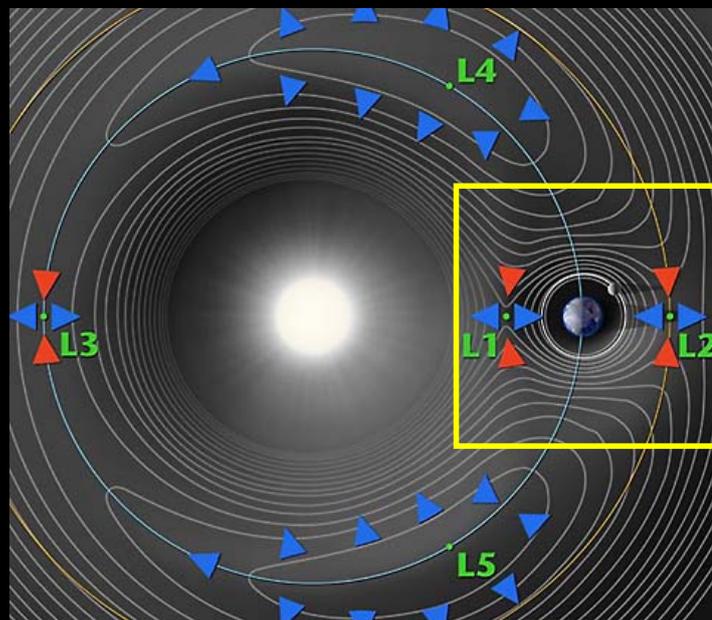


SPICA と L2点の利用

宇宙科学研究所
准教授 川勝康弘

ラグランジュ点



太陽・地球との位置関係

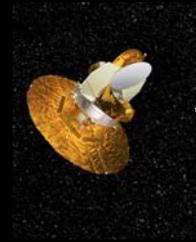
ISEE-3



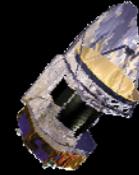
SOHO



WMAP

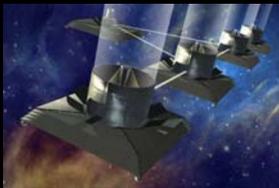


HERSCHEL

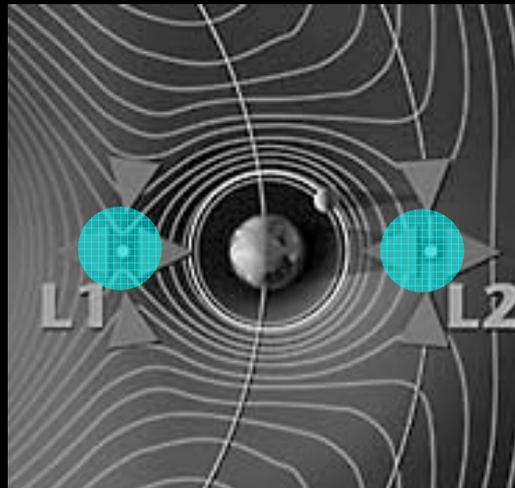


太陽・深宇宙の観測ミッション

力学的な平衡点



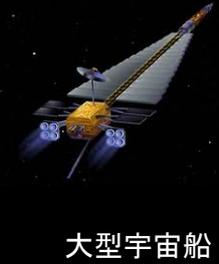
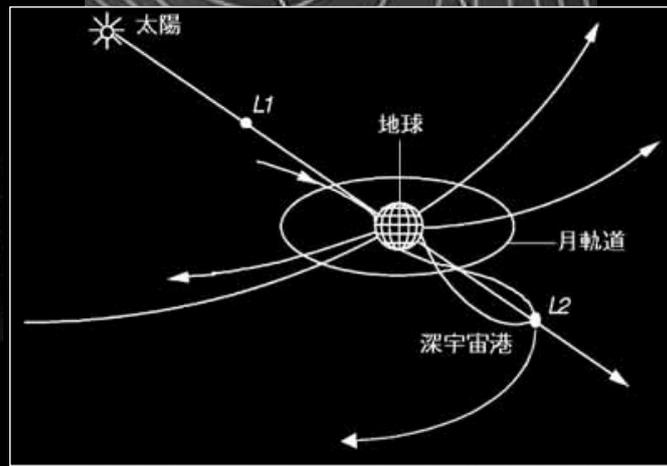
TPF-I



DARWIN

フォーメーション・フライト ミッション

地球影響圏の縁



惑星間飛行への中継点(深宇宙港)

太陽・地球との位置関係

力学的な平衡点

ラグランジュ点
将来の宇宙活動の拠点

地球影響圏の境界

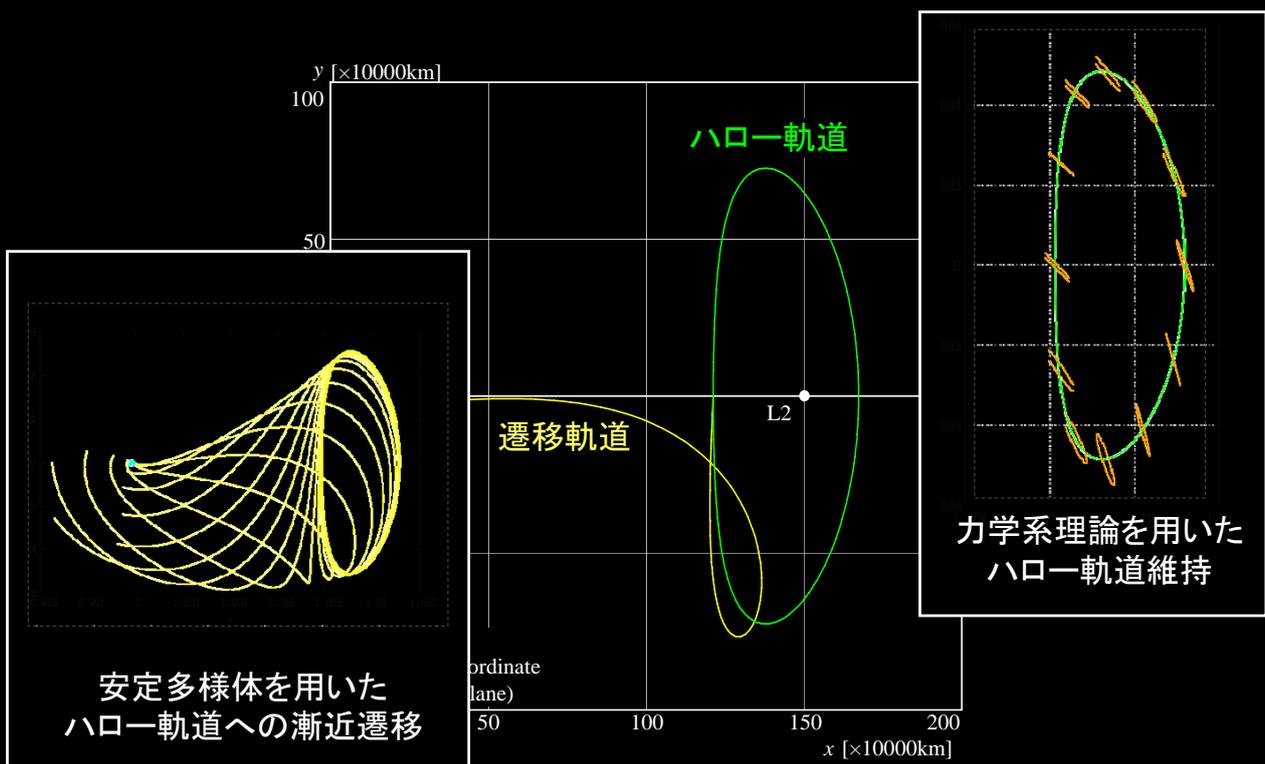
SPICAの役割

日本初のラグランジュ点利用ミッション

ラグランジュ点での運用技術の習得

- ラグランジュ点特有環境への適応
- 具体的な運用手法の確立

SPICAの軌道制御運用



まとめ

- ラグランジュ点は、将来の宇宙活動の拠点。
- SPICAでは、ラグランジュ点での運用技術を習得。
- 鍵となる技術の一つは、軌道制御運用。